

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

(地域の現状)常盤台地域ケアプラザの各地区における共通の課題は、①地域ネットワークづくり「地域のつながり」の強化②子ども、高齢者、障がい者等の要援護者支援を含む住民同士の「見守り・支え合い」の推進③高齢者の健康寿命を延ばすとともに介護予防を推進する心と体の健康づくり④地域におけるボランティア等新たな「人材の発掘」⑤身近な地域で安心して過ごせる居場所づくり⑥認知症及び在宅で介護の必要な方や家族を支える取組み⑦医療・介護関係者の連携強化と相談対応の体制づくりなどがあげられます。

(今後の方向性)今年度も羽沢横浜国大駅の周辺地区におけるまちづくりを支援します。具体的には、①『羽沢横国まちづくり協議会』によるまちづくりプランの策定。②横浜国立大学ワークショップを基軸にした取組み。以上2つの取組みについて、駅周辺エリアの自治会町内会・横浜国立大学・行政・常盤台地域ケアプラザに加えて鉄道会社や地権者、地域の学校、子育て支援関係者とも相談しながら同時並行的にすすめていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ○「羽沢横国まちづくり協議会」の事務局として、引き続き協議会の運営や調整等の支援を行なっていく ○活動状況の聞き取りを行う中で、代表や参加者の方が活動に対してどのように思っているかを確認し、必要に応じて情報提供や提案を行う。 ○今年度ワークショップのテーマ「遊べる椅子づくり」を通じて、特に子育て関係者との連携強化に努める。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度から継続でチームオレンジ事業に取り組む。地域住民と一緒に考える機会を作り「高齢になっても受け入れられるあたたかい地域作り」を構築していく。 ○チームオレンジの広報活動を強化していく。 ○認知症カフェの実施に加えて、認知症サポーター養成講座やステップアップ講座を企画する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度までケアプラザでケアマネジャー向けに開催していた事例検討会を、さらに他職種を交えたグループワークや情報交換の要素を取り入れた形に発展させ「ときわの輪」の名称でリニューアルする。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ○パン＆和菓子教室を自主事業から自主グループへ立ち上げを行い、イベント時のボランティア活動につなげていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ○団体との関わりを継続し、情報を把握し、「きらしニアマップ」「地域活動サービス検索ナビ(Ayamu)」に反映する。 ○考えられる課題とその根拠となるデータの整理を行う。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

（この欄は空欄です）

区からのコメント

（この欄は空欄です）

令和5年度横浜市常盤台地域ケアプラザ事業計画書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	事業者選定にあたっては、ホームページなどを活用して複数事業者を提示したうえでご利用者様・ご家族様に事業者を選択していただくプロセスを徹底していきます。また、支援に際して毎月のカンファレンスや日常業務での区役所とのやり取りを通じてきめ細かく情報共有を行い、支援方針についても緊密に連携しながら実務にあたります。利用者アンケートを通じて意見聴取し、業務改善につなげます。	前年度はコンプライアンス関連で事故は発生していませんが、引き続きコンプライアンス関連を含めた事故・苦情案件を起こさないように対応していきます。過去数年間に起きた事例の教訓を生かして、広報誌のイラスト及び記事内容チェック、PCセキュリティのウイルス対策強化、研修等による苦情対応の強化等について引き続き具体的に取り組んでまいります。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要介護認定で「要支援1」「要支援2」と認定された方々への介護予防プランを作成する。引き続き自立支援が図れるような目標設定をして、介護予防プランの作成を行う。	居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者様が自立した日常生活を営むことができることを目標とします。 地域包括支援センターと連携し、退院ケースや支援困難ケースに迅速に対応していきます。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】なし	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】なし
職員体制	管理者 1名(常勤兼務) 保健師等 2名(常勤兼務) 社会福祉士 1名(常勤兼務) 主任介護支援専門員 1名(常勤兼務)	管理者 1名(常勤兼務) 介護支援専門員 3名(常勤専従)
契約者数		

令和5年度「横浜市常盤台地域ケアプラザ」
収支予算書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,638,979		17,638,979		17,638,979	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0		0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
収入合計	17,638,979	0	17,638,979	0	17,638,979	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,366,512	0	11,366,512	0	11,366,512	
本俸	7,347,512		7,347,512		7,347,512	
社会保険料	2,921,000		2,921,000		2,921,000	
手当計	943,000		943,000		943,000	
健康診断費	50,000		50,000		50,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	99,000		99,000		99,000	
その他	6,000		6,000		6,000	
事務費	1,347,000	0	1,347,000	0	1,347,000	
旅費	10,000		10,000		10,000	
消耗品費	340,000		340,000		340,000	
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	60,000		60,000		60,000	
通信費	250,000		250,000		250,000	
使用料及び賃借料	5,280	0	5,280	0	5,280	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	5,280		5,280		5,280	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	15,000		15,000		15,000	
振込手数料	70,000		70,000		70,000	
リース料	10,000		10,000		10,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	586,720		586,720		586,720	
事業費	442,000	0	442,000	0	442,000	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	400,000		400,000		400,000	
その他	0		0		0	
管理費	2,801,000	0	2,801,000	0	2,801,000	
光熱水費	1,520,000		1,520,000		1,520,000	
清掃費	360,000		360,000		360,000	
機械警備費	84,000		84,000		84,000	
設備保全費	406,000	0	406,000	0	406,000	
空調衛生設備保守	147,000		147,000		147,000	
消防設備保守	28,000		28,000		28,000	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	18,000		18,000		18,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	213,000		213,000		213,000	
共益費	0		0		0	
その他	431,000		431,000		431,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	1,208,467	0	1,208,467	0	1,208,467	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,208,467		1,208,467		1,208,467	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	17,638,979	0	17,638,979	0	17,638,979	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	400,000	0	400,000	0	400,000	
自主事業 収支	△ 400,000	0	△ 400,000	0	△ 400,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	5,280	0	5,280	0	5,280	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 5,280	0	△ 5,280	0	△ 5,280	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度「横浜市常盤台地域ケアプラザ」
収支予算書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	28,433,290		28,433,290		28,433,290	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	300,000		300,000		300,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,858,377		5,858,377		5,858,377	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0		0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
収入合計	34,745,667	0	34,745,667	0	34,745,667	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,448,704	0	30,448,704	0	30,448,704	
本俸	16,997,704		16,997,704		16,997,704	
社会保険料	3,900,000		3,900,000		3,900,000	
手当計	9,000,000		9,000,000		9,000,000	
健康診断費	21,000		21,000		21,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	510,000		510,000		510,000	
その他	20,000		20,000		20,000	
事務費	1,900,000	0	1,900,000	0	1,900,000	
旅費	40,000		40,000		40,000	
消耗品費	160,000		160,000		160,000	
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	100,000		100,000		100,000	
通信費	400,000		400,000		400,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	100,000		100,000		100,000	
振込手数料	60,000		60,000		60,000	
リース料	10,000		10,000		10,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	1,030,000		1,030,000		1,030,000	
事業費	1,499,000	0	1,499,000	0	1,499,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000		100,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	300,000		300,000		300,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000		315,000	
その他	0		0		0	
管理費	725,000	0	725,000	0	725,000	
光熱水費	245,000		245,000		245,000	
清掃費	90,000		90,000		90,000	
機械警備費	23,000		23,000		23,000	
設備保全費	109,000	0	109,000	0	109,000	
空調衛生設備保守	39,000		39,000		39,000	
消防設備保守	8,000		8,000		8,000	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000		5,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	57,000		57,000		57,000	
共益費	0		0		0	
その他	258,000		258,000		258,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	46,963	0	46,963	0	46,963	
事業所税	0		0		0	
消費税	46,963		46,963		46,963	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	34,745,667	0	34,745,667	0	34,745,667	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	869,000	0	869,000	0	869,000	
自主事業 収支	△ 869,000	0	△ 869,000	0	△ 869,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和5年度 横浜市常盤台地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市常盤台地域ケアプラザ

令和5年4月1日~令和6年3月31日

(単位:千円)

科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護					
	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入															
介護保険収入	2,409		2,409	20,820		20,820	70,972		70,972	13,599		13,599			0
その他	0	0	0	0	0	0	8,186	0	8,186	720	0	720	0	0	0
事業・負担金収入	0		0	0		0	5,824		5,824	720		720			0
利息補助	0		0	0		0	112		112	0		0			0
借入金償還補助	0		0	0		0	2,250		2,250	0		0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
その他	0		0	0		0	0		0	0		0			0
収入合計(A)	2,409	0	2,409	20,820	0	20,820	79,158	0	79,158	14,319	0	14,319	0	0	0
支出															
人件費	1,200		1,200	18,364		18,364	55,565		55,565	9,128		9,128			0
事務費	150		150	1,289		1,289	2,478		2,478	626		626			0
事業費	0		0	0		0	5,906		5,906	1,470		1,470			0
管理費	192		192	1,138		1,138	7,994		7,994	3,083		3,083			0
その他	0	0	0	0	0	0	7,140	0	7,140	12	0	12	0	0	0
利用者負担軽減額	0		0	0		0	20		20	10		10			0
消費税	0		0	0		0	0		0	0		0			0
介護予防プラン委託料	0		0	0		0	0		0	0		0			0
支払利息	0		0	0		0	120		120	2		2			0
拠点区分間繰入金	0		0	0		0	4,000		4,000	0		0			0
借入金元金償還金	0		0	0		0	3,000		3,000	0		0			0
その他	0		0	0		0	0		0	0		0			0
支出合計(B)	1,542	0	1,542	20,791	0	20,791	79,083	0	79,083	14,319	0	14,319	0	0	0
収支 (A)-(B)	867	0	867	29	0	29	75	0	75	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和5年度 自主事業計画書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ときわの森子育て広場	平成21年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子のふれあいの場、親子同士の交流の場。ケアプラザに来てもらう事で子育てに関する情報交換ができる事や相談の場である事などを知ってもらう。	3:養育者及び乳幼児		4月手形アート作りと認知症の理解「ママが活躍、地域の見守り」5月音とリズム遊びとハーバリウム作り6月音楽に合わせて楽しく踊ろう8月わくわくお話しと夏祭り9月音楽に合わせて楽しく踊ろう10月ハロウィンパーティー11月パラバルーンで遊ぼうとお医者様のお話し1月わくわくお話しとおやつのお話し2月ミニコンサート3月ヒーローに変身しちゃおうと子育てサポートシステム説明会。		
2	ときわの森らくらくストレッチ体操教室	平成22年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	主に高齢者を中心とした体操教室。健康維持、転倒予防を目的とする。	1:高齢者		無理なく、安全に椅子に座ってストレッチを行う。講師の楽しい会話を交えながら、わかりやすい動作を行う体操教室。4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月、令和4年1月、2月、3月に開催。		
3	ときわの森美と健康体操	平成31年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	美しい姿勢を保つためのストレッチや心身ともに健康になるための体操を行う。健康な日常生活を送れることを目的とする。	5:地域		体幹トレーニング・筋力アップストレッチ・骨盤調整・姿勢分析などを少しづつ取り入れて、新しい講師により美しい姿勢を保つ事を意識しながら行う。原則毎月第1・3水曜日開催。		
4	ときわの森音と音楽で遊ぼう	平成23年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がいを持っているお子さんと親同士の放課後支援。音楽を通じて交流を図る。	2:障害児・者		音楽療法のできる講師を招いて、発達の統合調整を行う。原則毎月第1水曜日開催予定(5月は休み)。		
5	園芸ボランティア活動	平成23年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザ・コミュニティハウスの共通部分である施設内及び周辺の整備をしていく事で、きれいな環境維持とボランティアの活動の場、発掘の場につながっていく。	5:地域		2階の共有部分の中庭や花壇の整備をボランティアが中心となって季節の花などをみどりの協会より定期的に購入して植えていく。原則毎月第3水曜日に開催。		
6	ときわの森おもちゃ病院	平成30年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ボランティアのおもちゃドクターの協力により壊れたおもちゃを修理して、再び使えるようになることで「物を大切にしたい心」を伝えていく。	5:地域		壊れたおもちゃを持ってきてもらい、地域のボランティアに修理をしてもらう。原則毎月第2土曜日開催。		
7	保育園ママに保育園のこと聞いちゃおう!	令和元年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	入園前の子どもの保護者対象に保育園に関する情報を現在通わせている母親から情報をもらい、入園の目安にしてもらう。	3:養育者及び乳幼児		子育て支援拠点こっころの協力を得て、幼稚園のホームページや説明会ではわからない事を経験者の生の声を直接聞いて入園時の参考にしていく。6月開催する。		
8	ときわの森子育て広場サマーパーティー	平成元年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子同士の交流の場。遊びながら情報交換などが楽しくできる場の提供を目的とする。	3:養育者及び乳幼児		ケアプラザの外庭で水遊びとして、噴水シャワー、魚釣り・シャボン玉・水てっぽう・バケツに水をはっての遊びなどを予定している。		
9	利用者発表会 & 作品展	令和3年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザ・コミュニティハウスとの共催でイベントを開催することで、地域住民とのつながりを深める。	5:地域		利用団体の発表会と作品展をケアプラザとコミュニティハウスと共催で10月に開催予定。		
10	ときわの森親子で楽しむクリスマス会	平成23年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	親子同士で音楽を通じたクリスマス会を開催し交流を図る。	3:養育者及び乳幼児		クリスマスにちなんだ内容を企画して楽しんでもらう。ボランティアがクリスマスの飾り付けをし、ケアプラザ職員がサンタクロースに扮して、手作りのプレゼントを子どもに渡す。		
11	第12回桜バザー	令和4年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザとコミュニティハウスの共同開催。地域住民との交流を目的としたイベントの開催。	5:地域		地域住民の協力で不用品を集めてバザーを開催する。令和5年3月に開催予定。		
12	ほっとフレンズ2023夏	平成20年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ② 障がい児を抱えた家族同士の交流を図る。	2:障害児・者	3	保土ヶ谷区フレンドサポート補助金を活用して春休みに、障がいを持っている子ども達が親子と一緒に楽しむ。7月に開催予定している。		
13	ほっとフレンズ2024春	平成20年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ② 障がい児を抱えた家族同士の交流を図る。	2:障害児・者	3	保土ヶ谷区フレンドサポート補助金を活用して夏休みに、障がいを持っている子ども達が親子と一緒に楽しむ。3月に開催を予定している。		
14	ほっとフレンズ外出企画	令和5年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ② 障がい児を抱えた家族同士の交流を図る。	2:障害児・者	3	保土ヶ谷区フレンドサポート補助金を活用して夏休みに、障がいを持っている子ども達が親子で外出して一緒に楽しむ。7月に開催を予定している。		
15	ほどがや区民まつりの参加	平成20年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	区民が多数来場する「区民まつり」に区内全てのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。 そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。	5:地域		福祉保健センター1区分を使用し、ケアプラザの周知を行う。10月に開催予定。		
16	無料食品配布会	令和2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域支援として、食品ロスを兼ねて地域住民向けに食支援を行う。	5:地域		フードバンクかながわなどから提供を受けて、賞味期限間近の食品や日用品を4・5点まとめて、地域の方々へ無料で配布する。地域活動支援「陶」による手作り革製品や陶器などの販売会も同時に行う4月・6月・8月・10月・12月・2月に開催する。		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	ときわ図書	令和4年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザの情報ラウンジに図書コーナーを設けることで、読書を気軽に楽しんでいただく事ができ、事業に参加していない方でもケアプラザを知ってもらえるきっかけとなる。	5:地域		貸出し図書を利用し、読み終わった読書感想を指定の用紙に書いていただいて、次に借りる方の参考にしてもらう。		
18	貸室お掃除大作戦	令和2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	団体登録をされている利用者とケアプラザ職員と一緒に貸室の掃除をしてもらう事で交流を図る。	5:地域		各団体より1・2名募り利用している貸室の掃除をしていただく。		
19	歌声サロン	平成24年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の中高年を対象に開催。地域住民同士の交流を図りながら、歌う事で心身の健康維持にもつなげていく。	5:地域		感染予防を図りながら、昔なつかしい・思い出の歌をピアノの伴奏で歌う。原則毎月第1火曜日に開催。		
20	ときわの森七タコンサート	平成23年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	近隣の大学の吹奏学部がケアプラザで演奏会を開くことで地域と音楽を通じて交流を図る。	5:地域		横浜国立大学吹奏楽団の演奏を地域住民に披露する。小編成の生演奏とライブ映像を楽しむ。 ・7月9日に開催予定。		
21	アーティフィシャルフラワーアレンジメント	令和3年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域住民に改めてケアプラザを知ってもらう機会とする。また、共催することで多世代交流の場とする。高齢者に対しては五感を使うことで認知症予防も目的とする。	5:地域		講師より、アーティフィシャルフラワーアレンジメントを指導いただく。また、包括職員より認知症予防についての説明や、わがまち保土ヶ谷体操を行う。10月20日10:00～12:00開催予定。		
22	認知症サポーター養成講座	平成21年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症について正しく理解して認知症の人や家族を温かく見守ることができる力を身につけてもらう。家族や周りの人が認知症になっても安心して暮らせる地域を作っていくことを目標とする。	5:地域		可能であればキャラバンメイトさんに参加してもらい認知症サポーター養成講座を行う。地域の自治会、小学校、中学校の依頼により開催する。		
23	ピーポーワン	平成27年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域包括ケアシステムの中で地域の方がお互いに見守り支えあうネットワークづくりを目指し、愛犬のお散歩のとき見守りボランティアをしていただく。	5:地域		ボランティア登録者に毎日お散歩のとき、利用していただく散歩バックをプレゼントし、緊急時にケアプラザへ連絡いただくシステム。登録会はコロナ感染状況を見て青空の下公園等で開催する。		
24	ピーポーママ	令和2年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域包括ケアシステムの中で地域の方がお互いに見守り支えあうネットワークづくりを目指し、子育て中のママにも地域の見守りボランティアに参加していただく。	5:地域		ボランティア登録者にお出かけのときに利用していただく外出バックをプレゼントし、緊急時にケアプラザへ連絡いただく。また、当事業の広報もかねてケアプラザイベント開催時など周知し参加していただく。		
25	チームオレンジ	令和4年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	認知症の人が役割を持って参加しやすい環境や見守りサポート体制を作りさらには地域に広く認知症に関する理解を広げ認知症の人が自分らしく過ごせる地域作りを進める取り組みを行う。	5:地域		「認知症になって過ごせる温かく安心できる地域作り」をテーマに高齢化率の高い峰沢団地とその周辺の住民対象にリーダーのステップアップ研修やオレンジカフェの開催、多世代交流の事業を一年間を通じて実施する。		
26	サロン ドゥ きらめき	令和4年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防を目的としたオリジナル体操をつくり、多世代に対して普及・啓発を行う。	1:高齢者		手芸や脳トレ、体操、消費者被害防止など、参加者と相談しながら内容を決めて包括職員と一緒にを行う。年に数回、イベント的な要素も盛り込む。第2、第4火曜日開催。		
27	きらきら長寿ときめき塾	令和4年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者が住み慣れた地域で元気で活動的な生活を送り続けるために、生活習慣の改善を見直す機会を提供し、自己実施できることを目標とする。	1:高齢者		介護予防のための運動、口腔、栄養の講座を開催し、生活習慣改善に自ら取り組めるよう普及啓発を行う。全4回。11月～12月実施。		
28	ゆるのび運動	令和2年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	健康の維持・増進のために効果的な運動をグループで継続することで、高齢者が張り合いを持ちながら運動を続けられることを目標とする。また、地域の受け皿としての機能も持たせる。	1:高齢者		健康の維持・増進のために効果的な運動をグループで継続することで、高齢者が張り合いを持ちながら運動を続けられることを目標とする。また、地域の受け皿としての機能も持たせる。		
29	きらきら長寿ときめき塾inたまり場	令和4年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者が住み慣れた地域で元気で活動的な生活を送り続けるために、生活習慣の改善を見直す機会を提供し、自己実施できることを目標とする。	1:高齢者		生活習慣改善や介護予防の知識を得て、生活の中で実践できることを目的とする。また、自分の健康に関心を持つことで、地域での健康づくりに取り組むきっかけとする。ケアプラザに来ることが難しい地域をターゲットに5月～7月の第4月曜日に開催(全3回)。		
30	ノルディックウォーキングin新横浜公園	平成23年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の高齢者がいつまでも元気に楽しく歩けるよう、ノルディックウォーキングを通して継続的に運動に取り組むための支援を行う。また、隣接する神奈川区との交流を図る。	1:高齢者		講師の指導のもと、新横浜公園周辺を楽しみながらウォーキングする。また、神奈川区若竹苑と菅田地域ケアプラザのグループとの交流の場とする。雨天の場合は屋根のあるエリアで実施。(6月1日講師都合により中止)		
31	Let's フラ♪	令和3年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	フラを通してロコモ予防、認知症予防に取り組む機会とする。また健康づくりに取り組むきっかけとする。	1:高齢者		講師に学びながら、フラを行う。グループの自主化を目指して支援する。第3水曜日開催予定。		
32	シャキトレ!	令和3年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	ロコモ予防の運動を学び、自宅でも健康づくりに取り組むことができる。	1:高齢者		生活に取り入れられるロコモ予防の運動を講師から学ぶ。グループの自主化を目指して支援を行う。第1木曜日開催。		
33	男性かがやき塾～コーヒー編～	平成30年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	男性の社会参加、居場所づくりをねらいとする。地域向けイベント等担い手として活躍の場を広げていくような投げかけを行い、発掘支援していく。	1:高齢者		シニア男性、またはご夫婦を対象に月1回開催。コーヒーの淹れ方や選り方、その他実践方法を学び技術を身につける。参加が主体的に活動を行えるように支援し、自主化を目指す。毎月第2水曜日15時～。		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
34	喫茶ときわだい青空体操プラス	令和3年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	コロナ禍で自宅に引きこもりがちな高齢者向けに外出の機会を作り、屋外で介護予防の啓発、意識づけを行う。また活躍の場が減少したボランティアが活躍できる機会づくり。	1:高齢者		保健師より介護予防体操の紹介を行い、シニア男性ボランティア男性かがやき塾で身に着けた技術を活かし、ドリップコーヒーを地域住民に提供する。感染症対策のため、屋外で開催する。		
35	ときわ体操をつくる	令和3年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防を目的としたオリジナル体操をつくり、次年度以降、多世代に対して普及・啓発を行う。	7:その他		かながわ健康財団の講師とともに、介護予防を目的とした常盤台地域ケアプラザのオリジナル体操を完成させる。また、DVDを作成して、ケアプラザや地域会場での普及・啓発を行う。		
36	スクエアステップリーダー・フォローアップ講座	平成30年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域で活動しているスクエアステップグループのリーダーを対象として、スキルの向上とグループ活動の活性及び継続支援を目的とする。	1:高齢者		講師からスクエアステップの楽しさを学ぶと共に、グループに生かす方法やリーダーの役割をご指導いただく。また、グループリーダー同士の交流の場として活用する。		
37	地域活動グループリーダー連絡会	平成28年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	きらり☆シニア塾や地域のサロン等で活躍されている、ボランティアリーダーに対するフォローアップ。	1:高齢者		運動系のグループには理学療法士より講義や実践を、サロンなどのリーダーには言語聴覚士よりコミュニケーションに関する内容を講義していただき、グループの活性化を図る。		
38	楽しくコグニサイズ	令和2年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のサロンや活動グループ支援、介護予防として楽しみながら健康づくりや仲間づくりができるよう、コグニサイズの普及・啓発を行う。また、地域活動の担い手候補の発掘も目的とする。	1:高齢者		かながわ健康財団のコグニサイズ講師派遣事業を活用し、地域の高齢者を対象にコグニサイズの普及・啓発を行う。		
39	尿漏れ講座(仮称) →トイレを気にせず外出しよう 予防編	令和4年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	尿漏れについて学び、予防や改善の方法を知ること、積極的に外出や活動ができるようになることを目的とする。日常生活の活動性を上げ、ロコモ予防につなげる。	1:高齢者		排泄の専門看護師より尿漏れの機序等を学び、かながわ健康財団の講師より尿漏れ予防・改善のための運動等の指導を受ける。		
40	ワークショップ	令和4年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	老後も安心して住み続けられるまちづくりに向けた地域住民主体のワークショップ。	5:地域		横浜国立大学建築計画研究室の学生によるテーマの投げかけにより、地域住民と学生が話し合い、具体的な内容の検討をし理解を深める。今年度では「楽しいまちづくり」をテーマに、羽沢・常盤台地区にあったら良いと思う遊べるイスづくりを行っていく。年5回、5月7月9月11月2月を予定している。		
41	「よこはまシニアボランティアポイント」登録研修会	平成29年	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	ボランティアに気軽に参加できるきっかけづくり、及び新たな担い手の発掘育成を目的として開催する。またボランティア活動を通じた高齢者社会参加、生き甲斐づくりも目的とする。	1:高齢者		ケアプラザ職員が講師として、よこはまシニアボランティアポイントの登録研修会を開催する。ボランティアポイント事業の概要、ボランティアの基礎知識及び留意点等を説明する。年1回秋頃の開催を予定。		
42	春のフラワーアレンジメント	令和4年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	普段ケアプラザを利用していない地域住民にもケアプラザを知ってもらい機会とし、共催することで多世代交流の場とする。高齢者に対しては五感や手先を使うことで認知症予防も行う。	5:地域		講師より、生花を使用したフラワーアレンジメントを指導いただく。また、包括職員より認知症予防について説明し、わがまち保土ヶ谷体操を行う。		
43	健康講座 ～生活習慣病予防シリーズ～	令和4年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	3回シリーズで地域住民に生活習慣病について学んでもらい、予防に取り組むきっかけとする。また、いざという時に相談できる場所が身近にあることを知っていただく。	5:地域		地域の診療所の医師より、生活習慣病の予防と改善方法を中心に講義していただく。		